

NY マーケットレポート (2015 年 4 月 29 日)

NY 市場では、序盤に発表された 1-3 月期の米 GDP 速報値が、市場予想を下回り、2014 年 10-12 月期以来の低水準となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。一方、ユーロは、ユーロ圏経済の先行きや、対ギリシャ金融支援の交渉進展への期待感が支援材料となり、主要通貨に対して堅調な動きが続いた。また、円が主要通貨に対して軟調な動きとなったことから、クロス円も堅調な動きが続いた。その後、FOMC の声明で、景気減速は天候悪化による一過性との認識が示されたことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇する動きとなった。

2015/4/29 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.94	118.98	118.77
EUR/JPY	130.79	130.79	130.23
GBP/JPY	183.02	183.05	182.13
AUD/JPY	95.07	95.38	94.85
EUR/USD	1.0981	1.0999	1.0961

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.37	118.94
EUR/JPY	131.35	130.78
GBP/JPY	183.54	183.01
AUD/JPY	95.40	95.07
EUR/USD	1.1015	1.0984

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	休 場	
ハンセン指数	28400.34	-42.41
上海総合	4476.62	+0.41
韓国総合指数	2142.63	-5.04
豪ASX200	5838.58	-109.96
インドSENSEX指数	16142.09	-92.13
シンガポールST指数	3487.15	-7.94

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6946.25	-84.25
仏CAC40	5039.39	-133.99
独DAX	11432.72	-372.84
ST欧州600	397.30	-8.98
西IBX35指数	11378.90	-228.80
伊FTSE MIB指数	22995.63	-536.46
南ア 全株指数	54541.74	-497.55

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.06	119.35	118.62
EUR/JPY	132.34	132.89	131.14
GBP/JPY	183.75	184.12	183.11
AUD/JPY	95.48	95.95	95.31
NZD/JPY	91.49	92.07	91.45
EUR/USD	1.1117	1.1189	1.0992
AUD/USD	0.8019	0.8075	0.7990

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18035.53	-74.61
S&P500	2106.85	-7.91
NASDAQ	5023.64	-31.78
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15347.34	+1.27
ブラジルボルサ指数	44942.23	-396.13
ブラジルボベスパ指数	55325.29	-486.74

4/30 経済指標スケジュール

08:50	【日】3月鉱工業生産
10:30	【豪】1Q輸入物価指数
12:00	【日】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
14:00	【日】3月建設工事受注・3月住宅着工戸数
15:00	【日】4月経済・物価情勢の展望[展望レポート]
15:00	【独】3月小売売上高指数
15:45	【仏】3月生産者物価指数
16:00	【トルコ】3月貿易収支
16:55	【独】4月失業率・4月失業者数
17:00	【欧】4月欧州中銀月報
17:00	【南ア】3月生産者物価指数
18:00	【欧】4月消費者物価指数
18:00	【欧】3月失業率
21:00	【南ア】3月貿易収支・3月財政収支
21:30	【米】1Q雇用コスト指数
21:30	【米】3月個人所得・3月個人支出
21:30	【米】3月PCEデフレーター
21:30	【カナダ】2月GDP
22:00	【米】4月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:45	【米】4月シカゴ購買部協会景気指数
03:00	【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1210.00	-3.90
NY 原油	58.58	+1.52
CME コーン	367.75	+3.25
CBOT 大豆	988.00	+10.75

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.56%	0.56%
3年債	0.90%	0.89%
5年債	1.43%	1.39%
7年債	1.79%	1.74%
10年債	2.05%	1.99%
30年債	2.76%	2.69%

4/30 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・タルーロFRB理事講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 119.31 ユーロ/円 131.15 ユーロ/ドル 1.0994

21:00

欧州株式市場

米主要株	株価	前日比
英 FT100	7011.67	-18.86
仏 CAC40	5144.39	-28.99
独 DAX	11764.85	-46.81

(出所:SBILM)

21:00

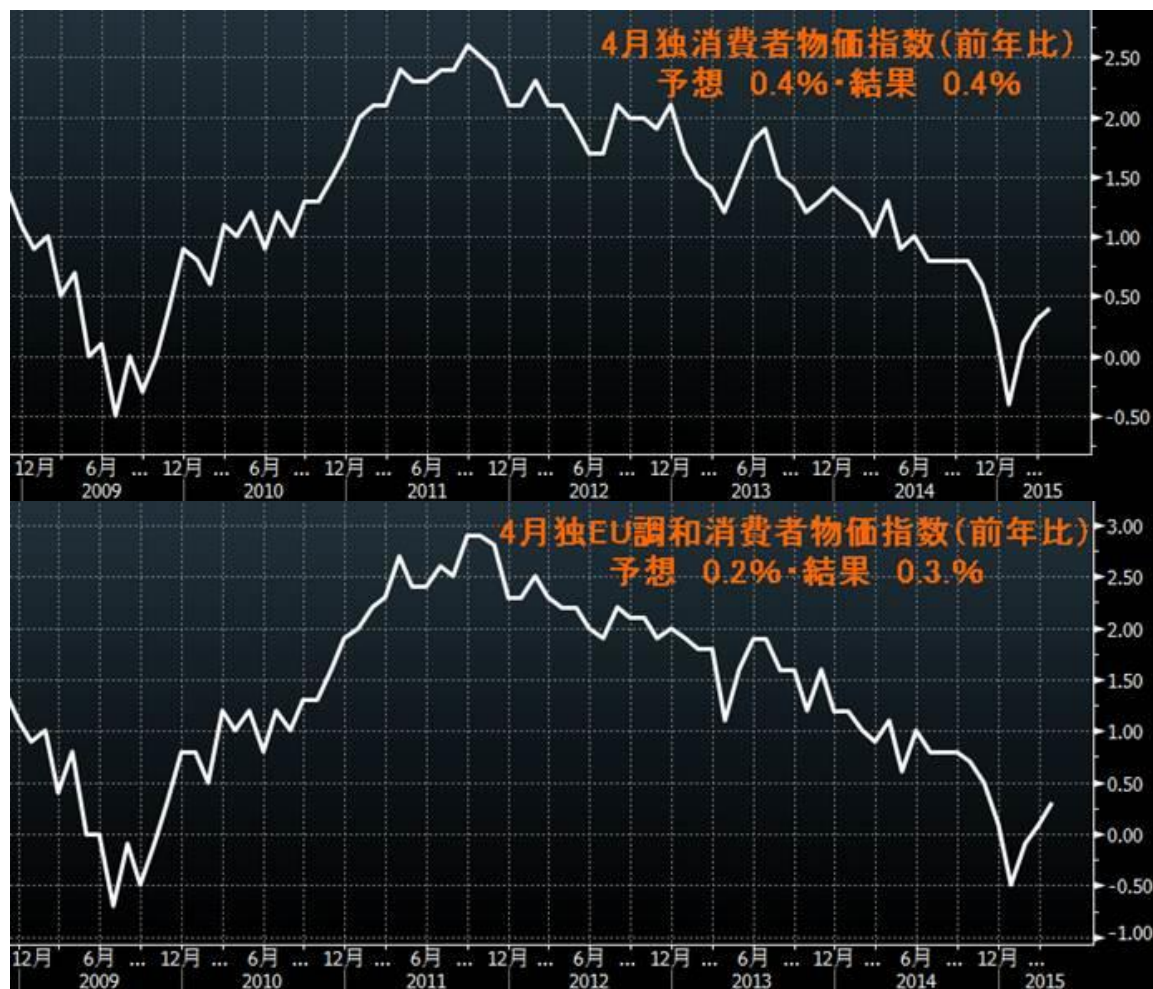
《 経済指標の結果 》

4 月独消費者物価指数 (前月比) -0.1% (予想 -0.1%・前回 0.5%)

4 月独消費者物価指数 (前年比) 0.4% (予想 0.4%・前回 0.3%)

4 月独 EU 基準消費者物価指数 (前月比) -0.1% (予想 -0.1%・前回 0.5%)

4 月独 EU 調和消費者物価指数 (前年比) 0.3% (予想 0.2%・前回 0.1%)



(出所:ブルームバーグ)

21 : 00

《企業決算》

米マスターカード

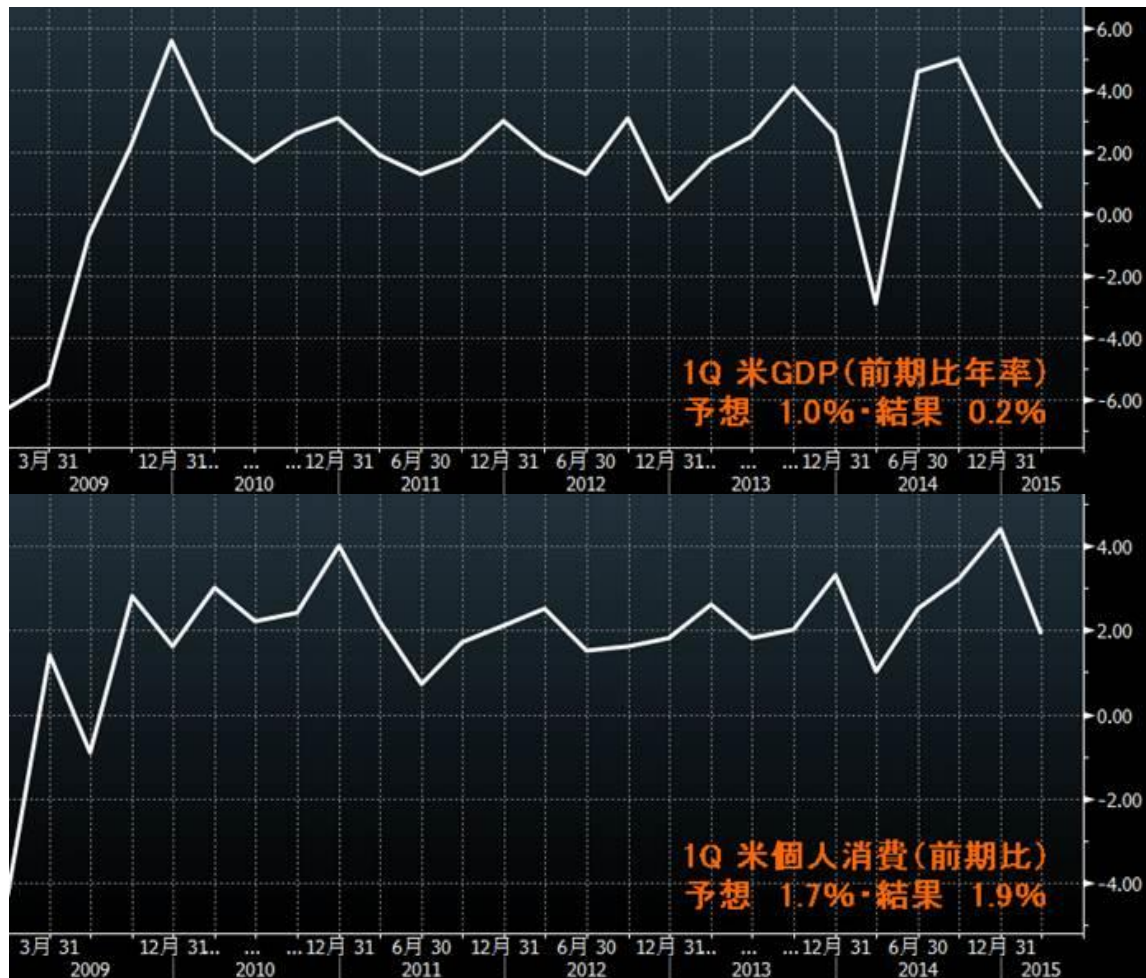
第1四半期1株利益 0.89 ドル (予想 0.80 ドル)

21 : 30

《経済指標の結果》

1Q 米 GDP (前期比年率) 0.2% (予想 1.0%・前回 2.2%)

1Q 米個人消費 (前期比) 1.9% (予想 1.7%・前回 4.4%)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米 GDP》

	1Q 速報	14 年 4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	0.2	2.2	5.0	4.6	-2.1
個人消費	1.9	4.4	3.2	2.5	1.2
耐久消費財	1.1	6.2	9.2	14.1	3.2
非耐久消費財	-0.3	4.1	2.5	2.2	0.0
サービス	2.8	4.3	2.5	0.9	1.3
住宅投資	1.3	3.8	3.2	8.8	-5.3
政府支出	-0.8	-1.9	4.4	1.7	-0.8
最終需要	-0.5	2.3	5.0	3.2	-1.0
国内最終需要	3.3	3.3	4.1	3.4	0.7



(出所：ネットダニア)

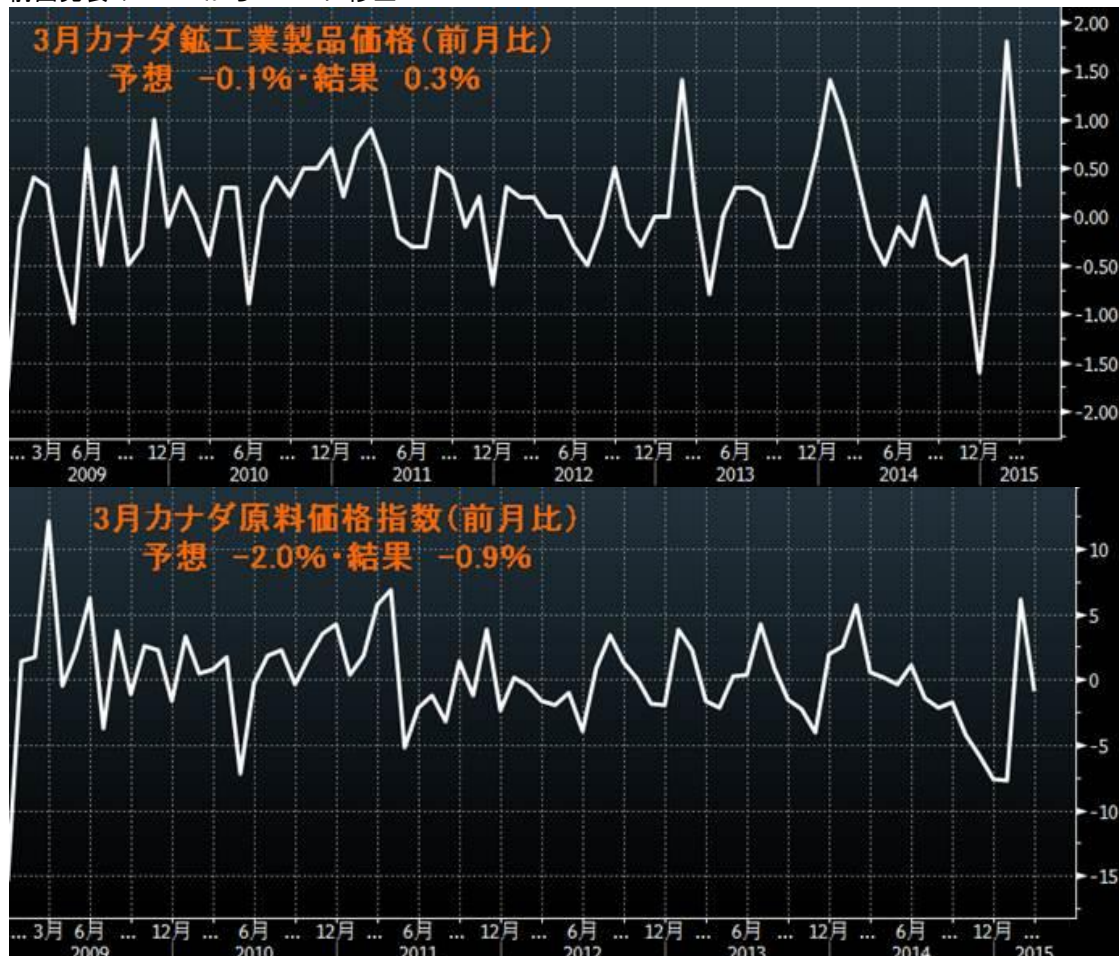
21 : 30

《 経済指標の結果 》

3月カナダ鉱工業製品価格(前月比) 0.3% (予想 -0.1%・前回 1.8%)

3月カナダ原料価格指数(前月比) -0.9% (予想 -2.0%・前回 5.9%)

前回発表の 6.1%から 5.9%に修正



(出所：ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18054.22	+55.92
ナスダック	5036.94	-18.48

(出所: SBILM)

23 : 00

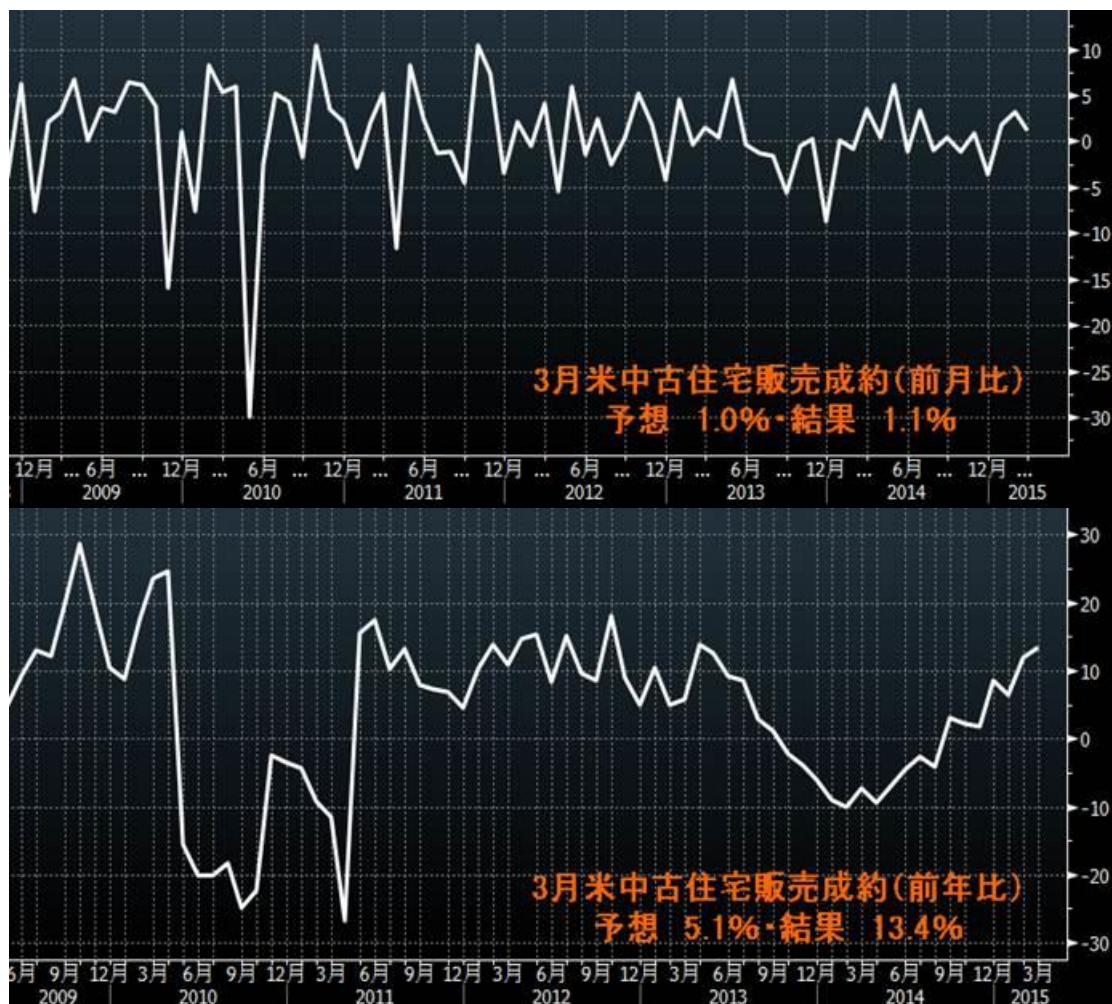
《 経済指標の結果 》

3 月米中古住宅販売成約 (前月比) 1.1% (予想 1.0%・前回 3.6%)

前回発表の 3.1% から 3.6% に修正

3 月米中古住宅販売成約 (前年比) 13.4% (予想 5.1%・前回 12.5%)

前回発表の 12.0% から 12.5% に修正



(出所: ブルームバーグ)

経済指標データ

《中古住宅販売成約》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全米	1.1	3.6	1.2	-1.5	0.4	-0.1
北東部	-1.5	-2.6	-1.4	-3.6	0.5	1.6
中西部	-2.5	11.5	-1.1	-0.8	0.2	0.2
南部	4.0	-0.2	3.2	-1.0	0.7	0.1
西部	1.7	6.5	1.6	-1.9	-0.1	-1.7

(前月比%)

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全米	13.4	12.5	6.1	7.7	1.7	2.0
北東部	4.5	3.7	3.3	8.4	2.5	4.0
中西部	15.6	13.5	1.8	3.6	-3.4	-3.4
南部	13.7	12.0	9.3	9.2	3.7	2.9
西部	17.0	17.8	6.4	9.1	3.1	5.7

(前年比%)

23 : 25

PIMCO は、バーナンキ前 FRB 議長をシニアアドバイザーに起用

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・191 万バレル増加
ガソリン在庫・・・171 万バレル増加
留出油在庫・・・6.6 万バレル減少

23 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、1-3 月期の米 GDP の伸び率が予想以上に低下したことから、米景気が急減速しているとの思惑が広がり、売りが先行した。ただ、FOMC の結果発表を控えてやや限定的な動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 1-3 月期の米 GDP 速報値は、前期比+0.2%と、2014 年 10-12 月期の+2.2%から伸びが縮小した。個人消費や輸出が減速したほか、企業の設備投資が減った。米東部を襲った寒波や、米西海岸の主要港湾での労働争議により物流が停滞したことなどが影響したとみられる。また、ドル高により輸出が抑制されたことも影響したことが伺える。

①GDP の約 7 割を占める個人消費が+1.9%と前期の+4.4%から減速、耐久財とサービスがプラスを維持する一方で、非耐久財がマイナスに転じ重しとなった。

②設備投資は+4.7%だった前期から-3.4%へ減速、原油価格の下落を受けエネルギー産業でのインフラ投資が減っていることなどが背景となり、2009 年 10-12 月期以来の大きなマイナス幅となった。

③住宅投資は+1.3%と伸びが縮小、輸出は-7.2%と 4 四半期ぶりのマイナスに転じ、外需のマイナス寄与度が拡大した。ただ、前月高い伸びを示した輸入もプラス幅を縮小した。

④政府部門は、州・地方政府がマイナスに転じたほか、連邦政府の伸びも小さく、-0.8%と 2 四半期連続で減少した。

⑤個人消費支出 (PCE) 物価指数は前期比で-2.0%と 2009 年 1-3 月期以来の大きな下落となった。前年同期比では+0.3%となったが、前期の+1.1%から伸び幅を大きく縮めた。前年比の数字は FRB が物価安定の目安とする 2%を引き続き下回った。

⑥変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は、前期比+0.9%、前年同期比は+1.3%で、上昇率は前期から 0.1 ポイント低下した。

⑦市場予想を大きく上回って減速したことで、FRB が利上げ時期を遅らせるとの見方が強まりそうだ。ただ、FRB 内には減速は一時的で、年初のマイナス成長から力強い成長に転じた 2014 年と同様、4 月以降持ち直すとの見方も多い。

(2) NAR (全米不動産業者協会) が発表した 3 月の中古住宅販売成約指数は、前月比+1.1%の 108.6 (2001 年=100) となり、3 カ月連続のプラスとなった。

①地域別では、南部が+4.0%、西部が+1.7%、北東部は-1.5%、中西部が-2.5%となった。

②NAR のチーフエコノミストは、例年以上に買い手があり、3 月の仮契約数は上向いた、投資家ではない一般の客筋が増えており、購入層の拡大を歓迎、一方で多くの市場で需要が供給をはるかに上回っていることが行き過ぎた価格上昇につながることに懸念も示し、新築、中古を問わず在庫の大幅な改善が必要だとした。

③販売成約 (仮契約) は、通常 1-2 カ月以内に本契約に移行するため、販売成約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6946.25	-84.25
仏 CAC40	5039.39	-133.99
独 DAX	11432.72	-372.84
ストック欧州 600 指数	397.30	-8.98
ユーロファースト 300 指数	1581.94	-36.32
スペイン IBEX35 指数	11378.90	-228.80
イタリア FTSE MIB 指数	22995.63	-536.46
南ア アフリカ全株指数	54541.74	-497.55

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、米 GDP 成長率が市場予想を下回り、米景気の先行き警戒感が強まったことや、ユーロが対ドルで上昇したことで輸出企業の収益縮小懸念も広がり、主要株価が軒並み大幅下落となった。



(出所: ブルームバーグ)

0:50

《 要人発言 》

安倍首相～米議会演説

- ・「先の大戦に対する痛切な反省を胸に戦後日本は歩み刻んだ」
- ・「アジア諸国民に苦しみ与えた事実から目をそむけてはならない」
- ・「歴史認識は歴代総理と全く変わるものではない」
- ・「TPPは単なる経済的利益を超えた長期的な安保上の意義ある」
- ・「TPP日米協議、出口がすぐそこに見える」
- ・「人口減少反転させるため、なんでもやるつもりだ」
- ・「太平洋からインド洋を自由で法の支配貫徹する平和の海に」
- ・「日米には同盟強化する責任」

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 18042.43 (-67.71)、S&P500 2105.37 (-9.39) ナスダック 5027.95 (-27.48)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、このところの上昇傾向を受けて米 FOMC の結果発表を前に一旦利益を確定する売りが広がった。ただ、1-3 月期の米 GDP 速報値が市場予想を下回ったことから買い戻しが入り、相場の下げ幅が縮小する場面もあった。

午前の利回りは、30 年債が 2.77% (前日 2.70%)、10 年債が 2.06% (2.00%)、7 年債が 1.82% (1.75%)、5 年債が 1.45% (1.40%)、3 年債が 0.92% (0.89%)、2 年債が 0.58% (0.56%)。

《 欧州のポイント 》

①スウェーデン中銀は、市場の利下げ予想に反して、政策金利を-0.25%に据え置いた。一方、国債買い入れ額は予想通り拡大した。中銀は、拡張的な金融政策は国内経済にプラスの影響を及ぼしており、インフレ率は上昇し始めた」との見方を示した。そのうえで、現行の 400 億クローナの国債購入に加え、さらに 400 億-500 億クローナ (47 億-59 億 1000 万ドル) を買い入れる方針を発表した。

②ECB (欧州中央銀行) は、ギリシャの銀行に対する緊急流動性支援 (ELA) の上限を 14 億ユーロ引き上げ、769 億ユーロとした。銀行筋は、まだ利用されていない流動性の残額は 30 億ユーロになったと述べた。

③欧州委員会が発表した 4 月のユーロ圏景況感指数は、103.7 と、前月の 103.9 から低下した。一方、業況指数は 0.32 と、前月の 0.23 から上昇した

④ECB (欧州中央銀行) の統計によると、3 月のギリシャの銀行預金残高は 1450 億ユーロ (1600 億ドル) で、2 月から 25 億ユーロ減った。ただ、預金の国外流出ペースは鈍化、大口預金者がすでに海外に資金を移し終えた可能性を示した。

2:00

《 米財務省 7 年債入札 》

最高落札利回り・・・1.820% (前回 1.792%)
最低落札利回り・・・1.725% (前回 1.650%)
最高利回り落札比率・・・91.10% (前回 35.96%)
応札倍率・・・2.44 倍 (前回 2.32 倍)

3:00

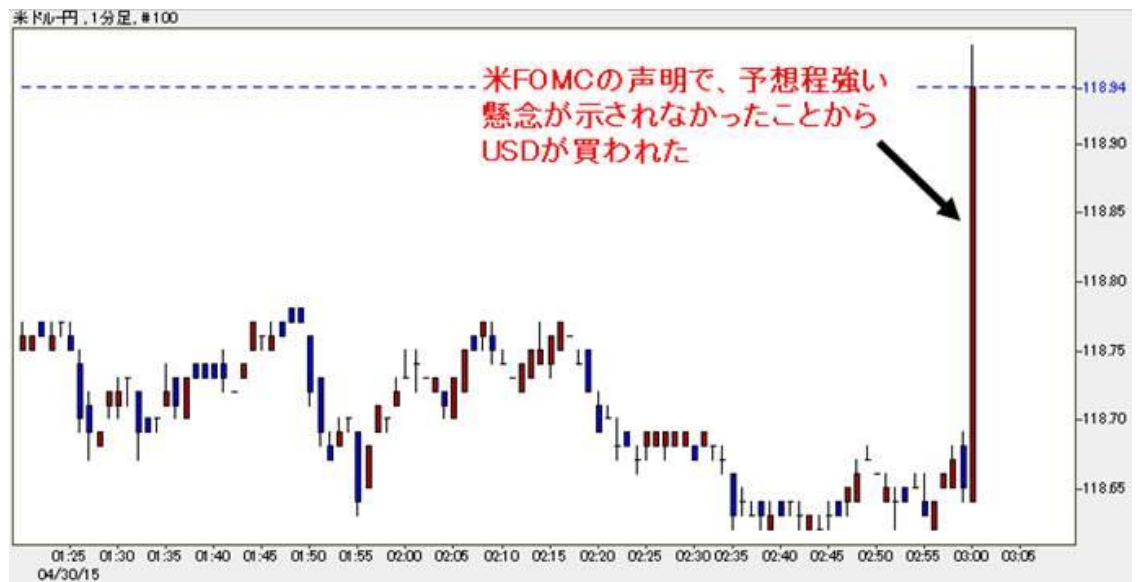
◀ 経済指標の結果 ▶

米FF金利政策金利誘導目標 0.00%-0.25% (予想 0.00%-0.25%・前回 0.00%-0.25%)

3:05

FOMC 声明

- ・「FF金利誘導目標を0-0.25%のレンジで維持」
- ・「冬季の減速は『一過性の要因』を一部反映」
- ・「第1四半期の減速の後、緩やかな成長と雇用の増加」
- ・「雇用の伸びは緩やかに、労働市場のスラック変わらず」
- ・「家計の支出の伸びは低下、実質所得は強く拡大」
- ・「企業の投資は軟化、輸出は落ち込んだ」
- ・「エネルギー、輸入価格がインフレに与える影響は一時的に」



(出所：ネットダニア)

3:45

NY金は、中心限月が前日比3.90ドル安の1オンス=1210.00ドルで取引を終了した。

4:10

NY原油は、中心限月が前日比1.52ドル高の1バレル=58.58ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1210.00	-3.90
NY 原油	58.58	+1.52

(出所：SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、前日までの上昇を受けた利益確定売りに押された。ただ、1-3 月期の米 GDP の急減速を受けて、ドル安に振れたことから、ドルの代替資産として金を買う動きも見られた。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、WTI 原油の引き渡し地点となる米オクラホマ州クッシングの在庫が減少したとの報道を受けて、供給過剰懸念が後退し、続伸となった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18035.53	-74.61	18096.46	17953.69
S&P500 種	2106.85	-7.91	2113.65	2097.41
ナスダック	5023.64	-31.78	5053.85	4999.83

(出所：SBILM)

＜米株式市場＞

米株式市場は、1-3 月期の米 GDP の伸び率が予想以上に低下したことから、米景気が急減速しているとの思惑が広がり、売りが先行した。ただ、FOMC の結果発表を控えてやや限定的な動きとなった。FOMC の発表後に下げ幅を縮小する場面もあったが、上値は限定的となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 156 ドル安まで下げる動きとなった。ただ、午後には下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.06	119.35	118.62
EUR/JPY	132.34	132.89	131.14
GBP/JPY	183.75	184.12	183.11
AUD/JPY	95.48	95.95	95.31
NZD/JPY	91.49	92.07	91.45
EUR/USD	1.1117	1.1189	1.0992
AUD/USD	0.8019	0.8075	0.7990

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米 GDP が予想以上の低下となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。また、円も主要通貨に対して下落する動きとなったことから、クロス円は堅調な展開が続いた。その後、FOMC の声明を受けて、ドルが買い戻される動きとなったものの、やや上値は限定的となった。



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。